

広報委員会 会議記録

1 日 時 令和3年10月18日（月）午前10時00分開会

2 場 所 第二委員会室

3 出 席 委 員	委 員 長	鈴 木 智 明
	副 委 員 長	野 鷹 香 澄
	委 員 員	中 西 典 子
	委 員 員	中 村 友 子
	委 員 員	戸 張 L I
	委 員 員	篠 田 哲 弥
	委 員 員	大 塚 健 児
	委 員 員	山 口 正 子
	委 員 員	織 原 正 幸
	委 員 員	渋 谷 剛 士
	委 員 員	市 川 恵 一 (欠席)

4 出席事務局職員	議 事 調 査 課 長	鈴 木 章 雄
	議事調査課長補佐	鈴 木 加代子
	議事調査課長補佐	鈴 木 美 紀
	議 事 調 査 課 主 幹	宿 谷 美恵子
	議事調査課主任主事	矢 口 岳 史
	議事調査課主任主事	柴 田 智 明

5 議 題

- (1) 議会だより第247号原稿の確認について
- (2) 第1回広報委員会の日程について
- (3) その他

6 会議の経過及び概要

委員長開議宣告
議 事
傍 聴 議 員 岡本優子議員、山中啓之議員
傍 聴 者 5人

（1）議会だより第247号原稿の確認について

鈴木智明委員長

まず、議題（1）議会だより第247号原稿の確認について議題といたします。

掲載原稿については、事前に確認いただいておりますが、事務局より訂正箇所があれば先に御報告をお願いいたします。

議事調査課長

事前の訂正箇所でございますが、特にございません。

鈴木智明委員長

今回まつど議会だよりですが、8面構成になっております。各委員の皆様から御意見を伺いたいと思います。

篠田哲弥委員

1面を見た時に、この新しい電子採決システムの画面ですけれど、こういう採決はあつたかなと思ってしまい、要は、テスト画面と断り書きを書いていただければ。

D E L I 委員

採決中なので、押している最中のことなので。

鈴木智明委員長

そうですね。

篠田哲弥委員

こういうメンバーが賛成して、こういうメンバーが反対している、採決中ですけれど。要望です。テスト画面と断り書きを、もし可能であれば。

鈴木智明委員長

今、篠田哲弥委員からお話があったのですが、ほかに何か御意見は、この部分でありますか。

鷹野聰副委員長

テストイメージですということですね。

鈴木智明委員長

一度そちらは承ります。ありがとうございます。

それでは、これから1面から順番に、皆様に確認をとっていきたいと思います。

まず、1面で何かございますか。

中西香澄委員

真ん中少し下の新型コロナウイルス感染症拡大防止への取り組みですけれど、質問時間の短縮について触れられているのですけれど、今回全員の出席の体制にした、プラス、1時間に1回の換気が30分に1回になったと思うのです。換気を増やしたなどは触れられていないのですが、そちらを入れたほうが正確ではないかと思うのですが。

鈴木智明委員長

この辺り、皆さん何かござりますか。

山口正子委員

デルタ株については、エアロゾルの関係で換気が本当に大事だと言わっていたので、30分に1回の換気と入れたほうがよいのではないかと思います。

鈴木智明委員長

ほかにござりますか。

鷹野聰副委員長

入れば入れればよいので、入らなかつたら……。

鈴木智明委員長

1回これは承って、少し調整させてもらいます。そこも大事な視点だと思いますので。ほかに1面で、何かござりますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

鈴木智明委員長

それでは、なければ2面に移ります。

2面、審議結果について掲載がありますが、こちらで何かござりますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

鈴木智明委員長

それでは、3面に移ります。

3面、大丈夫ですか。

鷹野聰副委員長

皆さん見てます。

鈴木智明委員長

少し早かったですかね。

2面、大丈夫でしょうか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

鈴木智明委員長

大丈夫ですか。もう少しゆっくりいきます。
それでは、3面で何かございますか。

織原正幸委員

2面、いいですか。

これは今後の議論になるかもしれないのですが、賛否など態度が分かれた市長提出議案のところで、採決時に議場にいなかった者ということで、今回お一人の方が横線になっています。この横線になる理由が、退席したのか、それとも体調不良なのか。そういうことがあるので、今回決めるのか今後議論していくのか、その辺りは検討していく必要があると思いました。

鷗野聰副委員長

欠席か退席かを明示する。

織原正幸委員

そうです。

鷗野聰副委員長

欠席なら「欠」とか退席なら「退」とか、そういうイメージですね。

織原正幸委員

この辺り、まだ曖昧なので、それは今日決めるか、今後決定していく必要があると思いました。

鈴木智明委員長

わかりました。この部分で何かございますか。

D E L I 委員

今のものを認定する時に、欠席と退席で何か違った形で記録に残るのですか。この人が退席だったことと欠席だったことを分けて認定しているのですか。

議事調査課長

欠席届を会議に出席できない場合には、会議規則で出すことになっています。欠席届が出ているものは、会議録にもその日の欠席者として記録は残るようになっています。

ただ、何らかの理由で採決時に採決の場にいなかった方は、議場の中への入場の記録として、この場合ですと、分母が1人減ったような形になっておりますので、そういった点から表記を考えた場合には、採決時に議場にいなかった者になると思います。

採決時に議場にいなかった者の中には、これは今の議論ですけれども、いなかったという意味では、欠席者も退席者もいなかった者という意味合いにとれる形、これは会議規則の中で、表決の時の分母の視点からすると、こういう書き方になると思っています。

D E L I 委員

今、私が聞いたのは、要は電子採決システムを導入する時もきちんと認定したものを公開するのであれば、オフィシャルとして公開したいということで、多分そこを細かくやつたと思うので、例えば、きちんとした手続をとっているなかつたけれど、実は、具合が悪くて欠席だったと後から出てきてしまうと、そこも崩れてしまうと思うので、きちんとした手続で欠席となっているものを載せるとかならまだしも、これはこれで合っているというか、この表記が一番正確かと思いました。

鈴木智明委員長

この表記を正確にということですね。

D E L I 委員

きちんとした形で言えば、議場にいなかったということが一番正確なのかと思いました。

鈴木智明委員長

わかりました。確かに。

織原正幸委員

確かに議場にいなかったけれど、欠席届が出されている者とかいう表現でもある気がするのだけれど。

鈴木智明委員長

確かに。

D E L I 委員

それは、きちんとオフィシャルでそうですという情報なのですか。

織原正幸委員

届けが……。

議事調査課長

欠席の届けについてですけれど、1日を通して出席できない時には届けを出すことになりますが、現在途中で具合が悪くなつた方が、会社員ですと半日の休暇とかあると思うのですけれど、特にそこまでの決まりが会議規則上も、地方自治法上にもございませんので、全く参集できないことになると、欠席の届けが必要ですが、それ以外の場合には欠席の届けを要するような書き方には、今のところはなつていません。

中西香澄委員

言づけで足りる……。

議事調査課長

欠席の届けも書面であらかじめではなくても、関係例規集の先例・運用の中に、事務局への電話連絡等でも構わないと記述がございますので、そういういた運用をしています。

ただ、1日を通しての欠席ではない場合、欠席届、欠席の連絡が必要とは会議規則上なってはいないです。

中西香澄委員

ということは、遅刻や早退の場合は、連絡が正確にない場合もあり得ることですか、会議規則上。

議事調査課長

早退については、多くの方は事務局にお話しいただきますけれど、ただ、それが義務づけられているものではないです。

中西香澄委員

記録には、連絡があった場合は、事務局はそれを届けとして受け取って記録することでおろしいですか。それはしないのか。

議事調査課長

欠席の届けは1日を通して参集できない、出席できない時に出すことになっておりますので、それ以外の場合には記録には残りません。採決時にいなかった記録は、会議録、電子採決の場合ですと分母にいた、いないの関係は出てきますので、こういった形の表記でいなかったことは確認できると思います。

鈴木智明委員長

多分この部分は大事だと思うので、ほかに御意見はありますか。

大塚健児委員

すみません。該当の会派になりますので、今の議論を慎重に聞かせていただいたので、会派に持ち帰らせていただいて、私の会派の意見も反映させていただきたいと……。

織原正幸委員

そんな時間ないよ。

大塚健児委員

そんな時間ない……。

鈴木智明委員長

そうですね。

大塚健児委員

今回はこれでよいと思うのですけれども、少し会派の意見を聞かせてください。

鈴木智明委員長

紙面の作成上、時間の関係もあるので、今回の紙面はこの形で大丈夫でしょうか。まず、そこの確認と……。

織原正幸委員

日程の関係もあるから、今回はこれでやむを得ないかもしれないけれど、例えば、欠席届が出て1日欠席した時に、どういう表記にするかは、市民にわかりやすくするために、何か対応を考えたほうがよいと思います。

鈴木智明委員長

それは正副委員長で預からせていただいて、また今後どのようにしていくのか、もう一回改めてこの部分は大事なので、お示しして皆様にお諮りいただきたいと思います。この部分は、ほかに何か御意見ありますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

鈴木智明委員長

ないようでしたら、ほかに2面で何かございますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

鈴木智明委員長

では、3面に移ります。

織原正幸委員

たびたびごめんなさい。戻ってよいですか。

鈴木智明委員長

では、戻ります。2面。

織原正幸委員

2面。これは事務局に確認ですけれど、議員提出議案は、基本的に委員会に付託しないではないですか。議会だよりは付託先委員会という欄があつて、全部横線になっているのですけれど、これは、あつたほうがよいですか。例規上どうなのでしょうか。なくてもよいような。

鷹野聰副委員長

動議でするのでしたか。

織原正幸委員

動議ですか、全部。

鷹野聰副委員長

動議で付託を省略するのではなかつたですか。

織原正幸委員

半分ぐらい動議だけれど、半分ぐらいが……。

鷹野聰副委員長

両方混じっているのか。

鈴木智明委員長

では、事務局お願いします。

議事調査課長

付託することもできます。松戸市議会の場合は付託を省略している。付託をしないのは事前に議員同士で協議をする場があつて、すり合わせをしているから、あえて委員会で審査をする形はとつてないのが現状でございます。

鈴木智明委員長

いいですか。

議事調査課長

織原正幸委員がおっしゃつたのは、この場所に載せる、載せないのお話でしょうか。

織原正幸委員

そうですね。付託先委員会の欄をつけるかつつけないか……。

議事調査課長

最終的に議決をしたというベースで考えてお載せしていると思いますので、その辺りは様々な考え方があつうかと思っています。

鈴木智明委員長

よろしいでしょうか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

鈴木智明委員長

では、続きまして3面に移ります。

委員会の様々記載などあります、こちらについて何かございますか。

中西香澄委員

建設経済常任委員会の報告ですけれど、議案第25号についてメインで書かれているのですけれど、議会運営委員会を見ていただくと、二つの陳情について取り上げられているのです。建設経済常任委員会については、今回三つほど、プラス陳情も賛否が分かれた上で決定していると思うので、重要な項目が一つだったのかという疑問と、また意見が委員同士で分かれた場合に、一つの意見側の質問しか載っていないので、この議会運営委員会のように、賛成、反対両方が載っているほうが記録としては正確かと思うのですが、そのような改善はできるのでしょうか。

鈴木智明委員長

これについては、委員会でそれぞれ議案があった時に、一つ選んでいただいて載せてきたという経緯があると思うのですが、その辺り事務局いかがでしょうか。

議事調査課長

今、鈴木智明委員長がおっしゃられたとおりなのですが、議会運営委員会の扱いが、今回どちらかというと特殊な形だと思っています。というのは、今回の議会運営委員会で扱った陳情が、執行部を持たない案件だったものですから、質疑が正式になかったので、質疑と答弁というものを、本来ならば紹介するスペースですけれど、それができないために、こういった形をとらせていただいたものでございます。

中西香澄委員

今のお話で、ほかの委員会が今までどおりの記載で、議会運営委員会がイレギュラーだというお返事だと思うのですけれど、事実としては理解したので、また、こちらのほうがより読みやすいのではないかと感じたので、答弁という形の掲載ですとか、何をチョイスするか、各委員長と事務局でチョイスされると思うのですけれど、そちらのあり方についても、ぜひ改善要望として出させていただきます。

鈴木智明委員長

承ります。

ほかに何かございますか。

山口正子委員

3面、真ん中の右ですけれど、人事案件がここにわざわざ書かれている。議案になかったのかと思ったら、2面にはあるのです。市長提出議案で、二つ同意しているのですけれど、人事案件については、これまで特別に書かれていたのか、それとも余白があったから書かれたのかどうなのでしょうか。

鈴木智明委員長

今まで書いてありました。

山口正子委員

そうなのですか。

鈴木智明委員長

紙面の関係です。

山口正子委員

本来は2面だったのかというところ。

鈴木智明委員長

今まで最終面とかに載せていましたが、今回紙面の関係で、先に載せたということで大丈夫でしょうか。

山口正子委員

わかりました。

鈴木智明委員長

ほかに何かございますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

鈴木智明委員長

それでは、4面に移ります。

こちらから一般質問に入りますが、こちらで何かございますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

鈴木智明委員長

引き続き、5面に移ります。5面でほかに何かございますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

鈴木智明委員長

続いて、6面に移ります。6面でございますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

鈴木智明委員長

続きまして、7面で何かございますか。こちらから決算討論も載ってきています。

これからも議会だよりを出していくに当たって、いろいろなお名前とかは、各会派で間違いないかとか、念のため、皆さん大事なお名前ですので、確認いただきたいと思っています。

中西香澄委員

決算討論ですけれど、公明党と松政クラブのオレンジの文字が全く同じ文章だと思うのですけれど、公明党は1文字空欄で、松政クラブは2文字空欄です。どちらかがよいですね。

鈴木智明委員長

間があいている、スペースがあいているということですね。

中西香澄委員

2文字あいていて、どちらかが間違いではないかと思うのですが。

鈴木智明委員長

この辺りは訂正を入れてもらいます。

ほかに何かございますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

鈴木智明委員長

それでは、8面に移ります。8面で何かございますか。

大丈夫そうですか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

鈴木智明委員長

では、御意見がないようですので、掲載原稿の確認を終わりにします。

事務局からの確認をお願いいたします。

議事調査課長

ただいま御議論いただきまして、1面でございますが、採決中の画面をテスト画面ですとするところ、それから、新型コロナウイルス感染症拡大防止への取り組みの中で、換気を30分に1回したこと、この2点につきましては、正副委員長と御相談の上、対処させていただきたいと存じます。

そして7面ですが、決算の討論で松政クラブのオレンジ色の部分ですが、最初の、行頭が2文字あきになっているところを1文字あきに訂正させていただきます。

鈴木智明委員長

以上で掲載原稿の確認を終わりにいたしますが、先ほどの各委員からの御意見及び事務局からの訂正を含め、字句その他整理を要するものについては、正副委員長に御一任いただきたいと存じます。

また、今回確認してもらいました原稿は校正用のものであることから、取り扱いにつきましては、御配慮いただければと思います。また、今回編集の窓、戸張友子委員ありがとうございました。

（2）第1回広報委員会の日程について

鈴木智明委員長

次に、第1回広報委員会の日程について、事務局から説明を願います。

議事調査課長

次期の第1回目の広報委員会は、12月定例会招集日の本会議終了後を予定しています。したがいまして、次回の広報委員会は11月30日火曜日、本会議終了後でございます。よろしくお願ひいたします。

鈴木智明委員長

次回の広報委員会は11月30日火曜日、本会議終了後とのことですが、皆様よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

鈴木智明委員長

それでは、さよう決定いたします。

(3) その他

鈴木智明委員長

次に、その他について何かありますか。

渋谷剛士委員

どのタイミングで言えばよいかと思っていたのですけれど、今回原稿を見させていただいて、かなり情報量と紙面の関係で苦労されている跡が見られるところで、いろいろ情報が増えた分、紙面も限られている中で、例えば、何かを削らなければいけないとか、新たに、先ほどの織原正幸委員の話もありましたけれど、見直すべきものを見直すところにおいては、改めて一度、別枠で広報委員会を開いて議論していただければよいかと思っています。

例えば、今日この後いろいろ御意見が出たとしても、なかなか深いところまで議論できないという思いもあるので、どこかで議論の場を設けていただければありがたいと思ったので、正副委員長にお任せはしますけれど、ぜひよろしくお願ひします。

鈴木智明委員長

承ります。ありがとうございます。

鷹野聰副委員長

何か提案のものと、具体的なものを、あらかじめ事務局に出してもらったほうがよいですね。

鈴木智明委員長

そうですね。今、電子採決システムという形で、今回事務局の方にも写真とか何回も直していただきたい、1面を見ていただきたいのですが、電子採決システムの写真とか、採決ボタンも最初は入っていなかったのですが、入れたほうがよいとか、市民の皆様がわかるように何回も修正をしていただきたい日に至ったので、また皆さん何かあれば、ぜひおっしゃっていただきたい。

あと、写真は、本会議の最終日までに出してくださいということで、今回こういう形で写真を使わせてもらったのですけれど、ぜひ写真などがあれば、出していただきたいと思います。

あと今、渋谷剛士委員からいろいろ御提案いただいたのですが、例えば、コロナ禍で委員会もなかなか視察に行けないとか、今そういう状況になっているので、私もさまざま考えさせていただきたい、今後この広報委員会をやっていくに当たって、市議会ホームページとか、他市のものを見ていただきたい、紙面の今後の構成とかを他市だとうやっているから、松戸市としても取り入れたらどうかとか、ぜひ今後その他で皆様に御提案いただいて、その中でより広報委員会をよいものにしていきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

ほかに何かございますか。

山口正子委員

市議会ホームページに、賛否態度が分かれたことに対する理由等を各会派で責任を持って載せたのですけれど、見てみたら、文字の変換を間違っていたのです。それで恥ずかしいと思い、変換だけでも正確な文字に変えさせていただきたい。中身まで変えることはしないので、いかがでしょうか。ほかの会派の分までは見ていないのですけれど、自分の会派の分だけ見たところ、私が出したものに変換間違いがありましたので、御検討いただきたいと思いました。

鈴木智明委員長

わかりました。この部分に関しては、一度承ります。

山口正子委員

ぜひ変換だけでも。

織原正幸委員

正副委員長で判断してもらってよいですけれど、ただ、本当に賛否態度ということで、各会派の責任のもとに提出したものですから、誤字脱字があったにせよ、どこまでが誤字脱字なのかも含めて、しっかりと委員長、副委員長で判断してもらって、本当に意味が変わらないのかどうか、きちんとチェックしてもらったほうがよいと思います。

鈴木智明委員長

承ります。

中西香澄委員

今の件ですけれど、確認していただく時に、議会運営委員会で同じ内容が話し合われた時に、杉山由祥委員長は、誤字脱字程度ならと発言をされていたような記憶があるのです。私は正確なほうがよいという意見ですけれども、そのまま。なので、正副委員長だけではなくて、議会運営委員会とも確認していただいた上で、決定していただいたほうがよろしいのではないかと思います。

鈴木智明委員長

山口正子委員が今回変換で直さなくてはいけない、誤字脱字があったのは、どの部分で言われているのでしょうか。

山口正子委員

決算審査特別委員会のところで、討論原稿を持っていったのですけれど、その時に変換間違いがあったみたいで、自分が討論した時には間違っていなかったのに、市議会ホームページにアップされたのを見たら変換が間違っていると思いました、せめて誤字脱字の修正だけでもできたらよいと思ったところです。ほかのところまでは見ませんでしたので、自分が出したものについて思いました。

鈴木智明委員長

山口正子委員が出された文字は出した時には間違っていなかった……。

山口正子委員

討論日の時は間違っていなかった。文字を見ながら読んだので。今度はメールで送ってしまったので、しっかり点検しなかったのです。翌日までだったので、少し焦りもあったのですけれど。そういうことです。

鷹野聰副委員長

この問題は簡単なようで、実は結構根が深くて、期限を切るべきだという意見を反映した結果でもあるわけです。修正を認める話になってきた時に、では、どこまで責任を持つのか、これまで広報委員会もそうですし、あと、それ以前の議会活性化検討協議会でもそうですけれど、散々議論してきたことを、土壇場でこれだからよいという形でなあなあにしかねない話でもあると思うのです。この辺り、皆さんの意向としてはどうなのか、別に採決をとるわけでも何でもないのですけれど、意向だけお聞きしておいたほうが、我々正副委員長を含めて判断する時に、どちらを優先するのかを判断材料の一つとして、皆さんの意向をお伺いできれば。要は期限を優先するべき話なのか、誤字脱字ぐらいはフレキシブルな運用でよいのか、その辺りは皆さんのお考えを聞かせていただければと思います。

D E L I 委員

会派としての意見にはならないのですが、個人的には、私は期限を守ったほうがよいと思うので、出したものそのままであれば、訂正できないほうがよいと思います。

中西香澄委員

先ほどの発言の時にも入れさせていただきましたが、D E L I 委員と同じ意見で修正なしがよいと思います。

D E L I 委員

事務局の手を煩わせないことも、今回の議論の中であって、私たちがある程度フォーマットに合わせて、そのまま載せるのもあると思うのです。訂正がオーケーだと、そこで事務局が対応しなければいけなくなるので、きちんと自分たちである程度責任を持ってチェックしたものがそのまま出て、訂正できない前提でやったほうがよいのではないかと思います。

鈴木智明委員長

わかりました。

大塚健児委員

先ほど、中西香澄委員からも杉山由祥議会運営委員会委員長の話があったので、当の本人とも話をしてみながら、鷹野聰副委員長の言うように根が深い問題だとしたら、ここでは私の会派としての意見は、先ほどの件に続いて出しにくくて、もしよろしければ、きち

んと持ち帰って会派で結論を出して、渋谷剛士委員が言ったように、次の機会で話し合わせていただきたいと思っています。

中西香澄委員

確認したいのが、市議会ホームページ掲載の担当の委員会です。議会運営委員会でその内容も話し合っていたので、そうではなくて広報委員会で決められるものだと、私は広報委員会ではないのかと思いながら聞いていたので、その辺りも整理して教えてほしいです。

鈴木智明委員長

今いろいろ皆さんからいただいて、これは1回持ち帰るのですけれど、周知の意見としては、もともと議会活性化検討協議会で賛否の採決をしますとなった時に、それぞれ文字数を決めてとかではなく、そこで伝えたいことを、きちんとそこで申し述べることで、各会派の責任において出すことが前提だったと思うのです。

ですから、きちんとそのとおりにいくのであれば、出したものをそのまま活用することが、初め皆さんで話した内容なのかというところが私、委員長としての考えなのですが、ほかの皆様、これについて何か御意見ありますか。

皆様が出された意見に対して、誰かが手を加えるという、先ほど織原正幸委員からもあったのですが、その辺りについては、やはりこれは駄目だ、あれは駄目だと、逆に事務局がとめるような形に今後なりかねないので、自由に表現していく、意思をきちんと伝えていく中で、会派の責任においてということは、大事な視点だと思いますが、その辺りいかがでしょうか。

山口正子委員

会派として責任持って出すことは、もちろん理解しているのですけれども、ただ、間違いはあり得る話ではありますので、誤字脱字ぐらい修正を考えてもらいたいと思います。

鈴木智明委員長

ほかに御意見ございますか。

戸張友子委員

山口正子委員の気持ちもわかりますし、本来は責任を持って出したものですから、訂正は、いかがなものかと思うのですけれど、D E L I 委員の先ほど事務局の手を煩わせる意味では、万が一今回その変換ミスを変えるとしたら、とても事務局に負担をかけることでしょうか。そこを少し確認させていただいてよろしいですか。

鈴木智明委員長

これは事務局で答えにくいかもしれないで、私から話をさせてもらいます。

鷹野聰副委員長

負担と言ったのを。

鈴木智明委員長

はい。

鷹野聰副委員長

要はこれが誤字脱字なのか、この変えたものが内容の変更になっているのか、いないのかを事務局が判断するのはどうなのかと思っています。事務的に。誤字脱字というものはこういう定義だと決めてしまうのでしたらよいのですけれど、いちいち事務局がそれを判断しなければいけないとなると、せっかく期日とかいろいろなものを決めたことから変わってしまうと思ったので、そういう意味です。

戸張友子委員

そうであれば、私は単純に今、山口正子委員がおっしゃったように、変換を変えるだけの手間がどうなのかと。そういうことであれば、基本的にはきちんと責任を持って出したものなので、変えないほうがよいとは思いますけれど、変えても少しはよいのかなというところもあります。

鈴木智明委員長

今おっしゃられたとおり、事務局が答えにくいので私から答えさせてもらうのですけれど、今回1週間ぐらい、ずっと検討していただいて、初めてアップしていただいたのですが、その中で確認作業もそうですが、確認するということは、事務局が責任を負うということになってしまって、事務局に責任を負わせてよいのかどうかもあるので、やはり私たちはその意見をきちんと市民の方に表明するので、その辺りは会派として責任を持って提出していくのが一番あるべき姿ではないかと、委員長としては考えていますが、その辺りはいかがでしょうか。

織原正幸委員

基本的に各会派の議員が提出したものを、事務局は一切チェックするとか、確認するとかいう作業はしないのです。要らないのです。今回の我々が決めた方式は。だから、その内容について誤字脱字があるとかは、事務局は一切関係ないのです。各会派の責任なのです。本来は変更することが、この趣旨からするとあまりよくないと思うのですけれど。だから、誤字脱字という部分について、正副委員長がこれは明らかに誤字脱字だということです、それも難しいのかな……。

鷹野聰副委員長

莫大な量になるわけですよ。10案件あって、会派が幾つあって。

織原正幸委員

申し出があった部分についてです。

もし仮に申し出があったなら、その部分についてはよいのかと思うけれど、ただ、そうすることによって、事務局には1回アップしたものをもう一度やり直してもらうという手間がかかる。確かにそれはそうなのです。DEL I委員おっしゃるとおり手間がかかるのです。

鷹野聰副委員長

正式なものがどちらかも、差し替えがありましたとか履歴を残さなければならぬ。本来的には。

織原正幸委員

なるほど、そこまでやるかどうか。

鷹野聰副委員長

考えれば考えるほど、深い問題がすごく出てくるのです。

織原正幸委員

簡単な問題ではなくて非常に深い問題、鷹野聰副委員長おっしゃるとおりなのです。

鈴木智明委員長

いろいろ議論はあります。

山口正子委員

具体的には2文字なのです。もともと賛否の分かれた意見について載せること自体から、それは大変なことだったけれども、絶対に変えられないこと自体が、あまりにもかたくなになっている気もするのです。ぜひ善処していただきたいです。誤字脱字に関して。

鈴木智明委員長

事務局、この点大丈夫ですか。

あとは正副委員長で、今の意見を踏まえて。

織原正幸委員

今回こういう議論になったわけですから、次回からはもう絶対修正はできないと。各会派の責任のもとに出しているのだから、誤字脱字であれ、もう一切できないと徹底しておいたほうがよいと思います。

鈴木智明委員長

では、この辺りは、次の定例会の時に、これから賛否公開があった時には、各会派きちんと責任を持って出していくことは、皆様にお願いしたいと思います。それを踏まえて今のお話は一度承って、正副委員長で検討させていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

ほかに何かございますか。

中西香澄委員

その他で、今のことに関連するかもしれないのですけれど、賛否の理由を今、掲載していますけれど、これがいつまで市議会ホームページに載るのかという議論は今までなかつたと思うのですが、今期中載ると私はイメージしていたのですが。

鈴木智明委員長

賛否の理由というと。

中西香澄委員

賛否の理由、今、山口正子委員が誤字を直したいと言ったのですが、市議会ホームページ上にいつまで存在するのかです。多分話し合っていないですよね。

鈴木智明委員長

ずっと存在するということですね。

中西香澄委員

ずっとでよいのですか。

議事調査課長

そのお話は議会運営委員会の中でも出てきたことですけれど、特にいつまでと期限がありませんで、掲載し続けることになると思うのですが、ただ全体の市ホームページの事業の中で、容量の問題等があって、保存をしていく、そういったことがあれば、その限りではないと思っているのですけれど、特に今のところは期限を設けているものではございません。

中西香澄委員

では、今の状態で載り続けることで、もし容量の問題が発生したり削除するようなことがあった場合は、また広報委員会でその旨が話し合われて変化が起きるという理解で大丈夫でしょうか。

鈴木智明委員長

広報広聴課とか、市ホームページとか関連性があると思うのですが、その辺り確認が必要だと思うのですけれど、事務局いかがですか。特に大丈夫ですか。

中西香澄委員

別件なのですから、前回の広報委員会の時に広報まつどが、カタログアプリ、QRコードで10か国語の音声アプリに対応しているので、議会よりも対応できないのか、事務局で技術的なところを確認していただけるというお話だったのですが、御報告がなかったようなので、あればお聞きしたかったのですが。

鈴木智明委員長

私もこれは気になって確認してみたのですが、10か国語で翻訳するということで、すごくすばらしい機能だと思ったのですが、変換する時に結構誤字脱字が出てきてしまったり、その誤字脱字をまたチェックを入れて訂正入れなくてはいけないとか、例えば、明（あきら）市民センターだったら明（みん）市民センターと誤変換してしまったりすることがあるみたいです。それをまた誰かがもう1回編集したり、かなりの作業が出てきてしまうので、かなり検討が必要と思っています。

中西香澄委員

費用としては、私も直接聞かせていただいたのですけれど、今、広報まつどで、年49万5,000円で、これがライセンス契約なので、広報まつどに議会だよりもくっつけても1円もお金が変わらないそうです。AIもきっと活用していかないと成長しないと思うので、無料なら、公開しないにしても対応させていただいて、この広報委員会の中で対応を検討したほうが、これが何百万円もかかるといったら別なのですが、1円もかからないので、ぜひ導入に向けて、問題があればそれを解決できるように進めていただきたいと提案します。

鈴木智明委員長

事務局でこのことでわかっていることはありますか。

議事調査課長

今、鈴木智明委員長がおっしゃられたとおりなのですが、10か国語に対応ということなのですが、読み上げの精度は、今のところはなかなか厳しい状態でございます。

また、アプリに対応させるための作業が手作業になるのですが、その作業時間が3日から5日間程度かかるということで、また、作業をするためのパソコンが、広報広聴課に1台となっていて、その期間使わせていただけるかどうかは別途交渉となる。また、その期間、作業する人工が必要になるところも、可能かどうかは課題だと思っております。

読み上げ等についてですけれど、セクションごとに一つ一つ選択する必要があるので、視覚障害者の利用は難しいのではないかと感じているところでございます。

鈴木智明委員長

よろしいですか。

中西香澄委員

先ほど渋谷剛士委員がおっしゃったように、改めて話し合う場でもよいのですけれど、前向きな検討をぜひ、今の課題はわかりましたので、改善していけたら外国人の方にも開かれるのではないかと思います。ぜひお願いします。

鈴木智明委員長

こちらも正副委員長で承ります。

ほかに何かございますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

委員長散会宣告
午前10時50分

委員長 署名欄	
------------	--